

# 地 元 密 着 通 信

各地区通信員のみなさんから届いた地元のできごとを紹介します！



Jimoto mitchaku  
tsushin

あなたの地区ではどんなできごとがあったでしょう。ぜひチェックしてみてください！

毎年のことながら迅速な作業に感心します。



**6** 月14日と20日の早朝に大勢の会員が参加して花壇の清掃植栽作業を行いました。中丁ふれあい花壇を中心に大通り、通学路や歩道に春の花々を植えたプランターを並べて花いっぱい運動の始まりです。ここ3年は酷暑のため花枯れがあり、こまめな手入れと水やりを欠かすことなく花の成長と維持に努めます。

また、冬を越したざる菊の苗を、この秋の開花を願いつつ色分けして植栽しました。

今年も花に囲まれた街づくりと地区住民の友和と互助を目指し活動していく方針です。

## 花いっぱい運動とざる菊の植栽

中

丁自治会

三浦雅次通信員



## 福沢の猫稲荷神社

**養**

蚕が盛んだった川俣町。蚕を食べるネズミがいたので「猫様

猫様、ネズミを退治して繭を沢山とらせてくんちない」と猫稲荷神社（西福沢字大木戸山）から絵馬を借り、繭が沢山とれたら絵馬を2枚にし、『倍返し』にしていたそうです。

社殿の創建は1856年頃と伝えられ、近所の氏子様のお話では「社殿前が花桃畑なので、花咲く頃お祭りをし、有志の氏様が奉納された絵馬を保管して、各美術館などへ展示貸し出しをしています」との事でした。現在でも、飼い猫に感謝の気持ちを込め参拝する方がいるそうです。



住所…西福沢字大木戸山 鳥居には猫様が、「いらっしや〜いニャー」と待っています。

福

沢自治会

菅野奈美子通信員



## 春日神社「夏越祭」

**例**

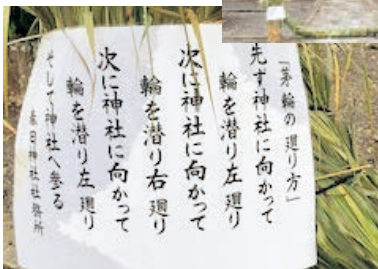
年6月30日は、境内参道の茅で作った茅輪ちのわが設置されます。茅輪には疫気除く魔除けの霊気があるとされ、無病息災・疫病退散を願って「8の字」にくぐり抜けてお参りします。

夏越祭は人形祭とも呼ばれ、紙に書いたお人形に家族の名前を書いて持参します。

ご参拝の皆さんは、家族の健康とご多幸、そして新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息をお祈りされたいとしましょう。

準備に関わった皆さん、ありがとうございました。

今年も無事、開催でき良かったですね。



宮

赤自治会

丹野早苗通信員



仁 井町自治会  
菅野 喜好 通信員



## 大津ぞる菊園の見事なユリ

6 月22日、梅雨晴れの日に大津ぞる菊園のユリを見てきました。

オレンジや黄色など色とりどりに咲きほこっています。ユリを間近に見たり、一段高台から見下ろすこともできる見事なユリ園です。大津さんに話を伺うと、数は約8000株で種類は約30種類だそうです。畑の周りも夫婦2人で草刈りなど手入れをしています。来年はぜひ見に来てはいかがでしょうか。

またぞる菊園ですが、今年は昨年の3分の1に規模を縮小したそうです。秋には大輪の菊となりますので皆さんも是非ぞる菊を見にお越しください。



色とりどりの見事なユリですね。



中 央自治会  
藤野 由紀子 通信員



## 待ち遠しき日々

毎年行われてきた花いっぱい運動。美しいまちづくり事業として長年多くの方に参加いただき、国道114号線川俣バイパス沿いを華やかに彩ってきました。残念ながら今年には実施の見通しが立たない状態ですが、状況の回復を願い、晴れ渡る空の下で花壇下や歩道に除草剤の散布が行いました。少人数での実施、マスクを着用するなど感染防止策をとりながら作業を行い、花植えが実施可能となった際にはすぐに対応できるよう準備を整えました。見る人を元気にしてくれる花たち。沿道がにぎやかになる日を心待ちにしています。

いつも地域のために活動いただき、ありがとうございます。



鶴 沢地区自治会  
斎藤 春美 通信員



## オオキンケイギクの駆除にご協力を

みなさん、「オオキンケイギク」という多年草を知っていますか？

広報かわまた5月号にも掲載されましたが、この植物は「特定外来生物」として指定され、栽培、運搬、販売、譲渡等が禁止されています。とても繁殖力が強く日本古来の植物の生育が奪われ、周囲の環境あや生態系に多大な影響を与えます。このことを重要課題として鶴沢婦人会では、昨年から勉強会を開催してきました。「この植物が従来種にどのくらい害を及ぼすか?」「駆除対象であることをどんな形で広く周知したら良いか?」等、掘り下げて話し合い、会員全員で理解を深めました。



綺麗な花ですが、未来のために駆除して在来種の生態系を皆さんで守りましょう。

飯 坂自治会  
佐藤 秀夫 通信員



## 待ちに待ったフェンシング部再開

4 月から6月までの約2か月間、新型コロナウイルス感染症予防のため自粛していた川俣高校フェンシング部が6月8日より部活再開しました。

平山裕汰部長は「9月には神奈川県でインターハイの代替試合として大会が計画されているのでそのために日々練習に取り組みたい」と話してくれました。

川俣高校フェンシング部は日本大会のほかに海外の大会でも実績を残しています。これからの川俣高校フェンシング部の活躍に大いに期待したいですね。

今年度は男子1名、女子3名が入部し総勢12名となりました。

